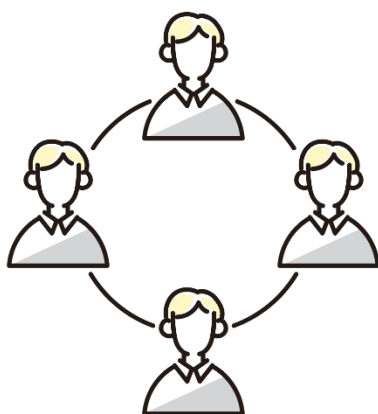


令和5年度

がんばる地域サポート事業 活動事例集



中津川市

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地 区	団 体 名	事 業 名	代表者名	ページ
1	中津西	手賀野諏訪太鼓保存会	手賀野諏訪太鼓保存会事業	原 元之	1
2	落合	落合まちづくり推進協議会 文化教育部会	郷土資料利活用事業	飯森 修	3
3	落合	孜汲舎の会	孜汲舎活動事業	水野 克司	5
4	阿木	阿木の記念誌作成委員会	阿木の史跡・文化財とふるさとの歌の 記念誌を作成する	鈴木 弘之	7
5	神坂	神坂日陰対策の会	地域の道路の日陰対策と資源の有効活用事業	磯川 久一	9
6	川上	夕森振興ボランティアの会	滝巡りの遊歩道を整備する活動	小縣 雅文	12
7	加子母	有償ボランティア えぶろん	有償ボランティア【えぶろん】 ボランティア活動推進事業	熊澤 恵美子	14
8	加子母	加子母防災士会	地域の防災意識向上	瀬瀬 輝己	16
9	付知	付知町優良材生産研究会	付知川河川公園 桜の樹整備事業	三浦 八郎	18
10	福岡	富士山公園を美しくする会	満天星つつじを守り継承する事業	花田 住夫	20
11	蛭川	蛭子座友の会	蛭子座の積極的活用推進プロジェクト	永谷 千文	22
12	蛭川	蛭音コネクト	蛭音祭	玉谷 正幸	24
13	蛭川	郷土文化財保存会	「蛭川村の伝説」の再発行	奥村 雅美	26
14	蛭川	さいびの会	蛭川の本と地域を継げる活動事業	西山 ゆかり	28

■立ち上げ部門

No.	地 区	団 体 名	事 業 名	代表者名	ページ
		R5年度は申請なし			

令和5年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	てがのすわたいこぼぞんかい		地域名	中津西		地区	
	手賀野諏訪太鼓保存会		会員数	10		人	
ふりがな 代表者名	はら もとゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	10		人(10 人)	
	原 元之						
事業名	手賀野諏訪太鼓保存会事業						
総事業費 内(補助金額)	310,000 円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 6 月 15 日から 令和 6 年 3 月 8 日まで			
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	・会員が練習や研修会を通して諏訪太鼓を習得し、手賀野地区敬老会や手賀野諏訪神社例祭の秋祭りで区民の皆さんに演奏を披露する。 ・地域のイベントを盛り上げるとともに住民間の交流を深める。 ・手賀野地区・西地区の子どもたちに太鼓の面白さを伝え、諏訪太鼓の保存・継承につなげる。						
	具体的な活動内容						
	・7月の手賀野盆踊りで演奏 ・10月の手賀野諏訪神社の例祭で結成披露 ・岡谷市の道場にて研修会の実施(7人×4回)、指導者を育成。 ・周囲への声掛け、2家族の練習見学・参加あり						
	主な活動の流れ						
			盆踊り演奏 練習		諏訪神社演奏 練習		
			←→		←→		
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
	・講習及び練習により、演奏項目(勇駒)の各パートを会員全員が習得出来た。 ・演奏時サポート要員の確保が困難で苦勞した。						
今後の展開(自立に向けた活動)							
・演奏項目を増やし、活動の場を増やししながら地域の皆様との交流を深めていきたい。又、介護施設等への演奏訪問も行って行きたい。							

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



手賀野盆踊り
演奏風景
演奏(屋台囃子)



御諏訪太鼓教室
講習風景
演目(勇駒)

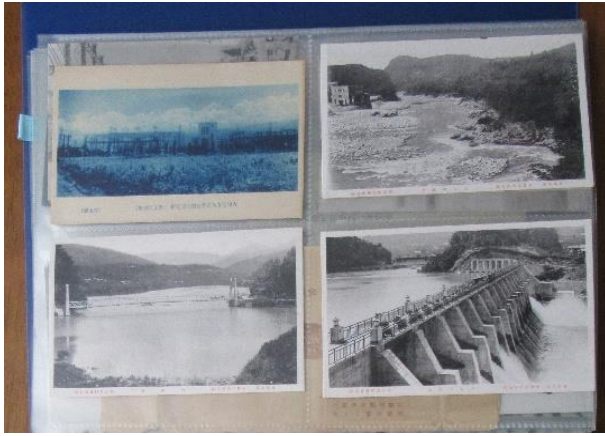


サンライフ別館
練習風景

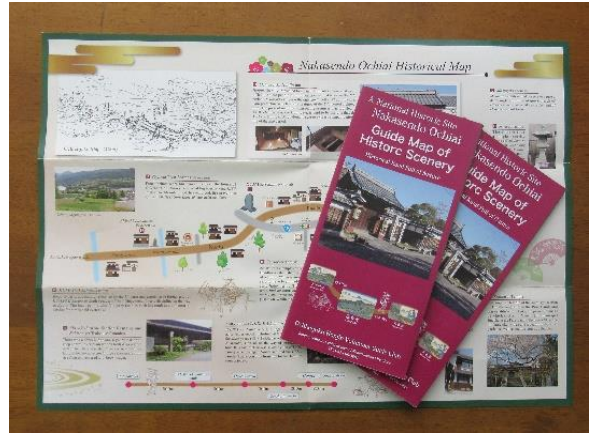
令和5年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいまちづくりすいしんきょうぎかい ふんかきょういくぶかい		地域名	落合 地区		
	落合まちづくり推進協議会 文化教育部会		会員数	8 人		
ふりがな 代表者名	かいちょう いいもり おさむ		延べ 参加人数 内(会員数)	102 人(29 人)		
	会長 飯森 修					
事業名	郷土資料利活用事業					
総事業費 内(補助金額)	341,880 円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 7 月 1 日から 令和 6 年 3 月 29 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	先人が残した地域に関連した資料や伝承を読み解いて、自分たちの暮らす地域の歴史や文化の中から「宝」となるものを再発見し、地域に愛着や誇りを持てる市民を育てる。					
	具体的な活動内容					
	- 郷土の歴史・文化に関わる資料の整理・データ化 - 郷土資料の読み解き - 郷土資料を地域の活動に活用する - 事象を地域の「宝」として意識づけ、地域活性化、落合の魅力向上、文化の継承に結びつける					
	主な活動の流れ					
	※資料のデータ化・印刷	資料調査・確認		資料データ収集・印刷		
	※資料の利活用	学校への資料提供と助言(小学校孜汲舎活動/中学校英語版観光案内作成)				
		孜汲舎発表会	健康ウォーキング	公民館ギャラリー開設		
		4月	6月	8月	10月	12月
						2月 3月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
(成果)						
- 落合ダムの工事写真などの資料をデータ化し、今後の活用につなげた。 - 在庫切れとなっていた落合宿パンフレット、本陣絵はがき、「軽便」を増刷し、落合の魅力を発信した。 - 小学校の孜汲舎活動、中学校の英語版観光案内の作成に郷土資料が活用された。						
(苦労したこと)						
郷土資料を地域の「宝」の再認識につなげるためには、地道な取り組みが必要と思われる。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
■引き続きまち協として - 失われつつある資料を掘り起こして、整理・データ化して残す意識を定着させる - データ化や増刷した資料を活用し、落合の歴史や文化を継承・発信する活動を充実させる - 地域に眠る資料を収集するためには、まち協の枠を超えた活動にしてい						

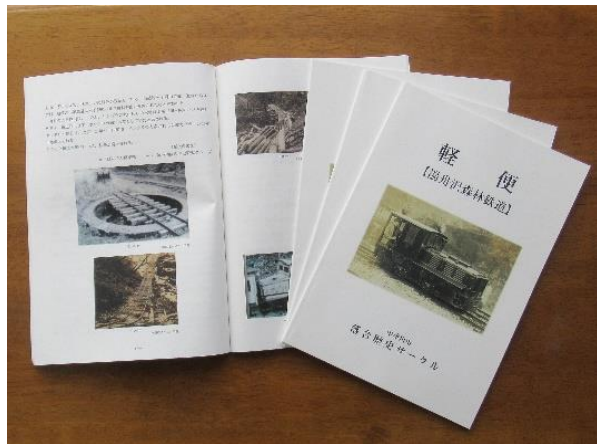
活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



▲活動の中で落合ダムに関する資料のデジタルデータを手に入れた。今後、展示などをおして紹介していきたい。



▲コロナ禍が明けて外国人観光客の来訪が増加している。数少ない英語版のパンフレットを増刷して、魅力発信に努めた。



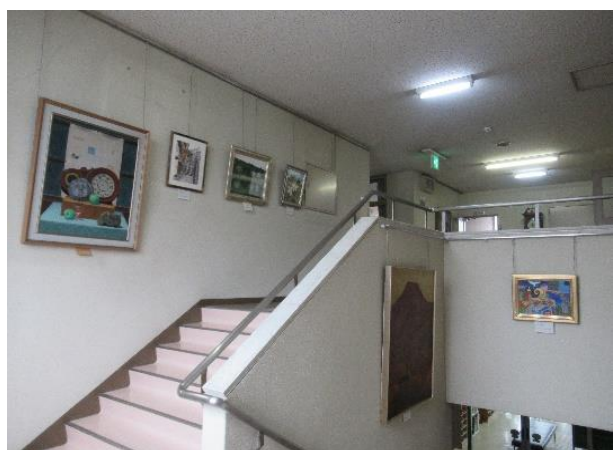
▲鉄道ファンや歴史に興味のある人の根強い需要があるようで、在庫切れの後も問い合わせがある。増刷により落合の歴史の一端を発信継続する。



▲「健康推進員と歩こう」では、コース上で落合ダムや村瀬橋、葉山嘉樹などの解説をした。今後も資料を活かし、郷土の歴史などを紹介する機会を設けたい。



▲小学校の放課後活動に郷土資料を提供した。子どもたちは資料を活用して、「落合の宝物」としてまとめ、ひと・まちテラスで発表会を行った。



▲地域の作家の作品を郷土の資料と捉え、発表の場として公民館にギャラリーを開設した。創作に関心のある人たちの交流や話題づくりのきっかけになることが期待される。

令和5年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	しきゅうしゃのかい		地域名	落合		地区
	孜汲舎の会		会員数	5		人
ふりがな 代表者名	かいちょう みずの かつし		延べ 参加人数 内(会員数)	189 人(80 人)		
	会長 水野 克司					
事業名	孜汲舎活動事業					
総事業費 内(補助金額)	201,033 円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 7 月 1 日から 令和 6 年 3 月 29 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	○地域に暮らす先人として、子どもたちに自分たちの暮らす地域の歴史や文化を伝え、ふるさとに愛着や誇りを持てる子どもを育む					
	※孜汲舎(しきゅうしゃ):落合小学校の前身となった寺子屋の名					
	具体的な活動内容					
	・学校におけるふるさと学習の支援/子どもに落合の魅力を伝える ①「夏休み子ども塾」(落合公民館 8/7-10) ②「落合の宝物」(ひと・まちテラス 8/19) ③「落合大好き子写真展」(落合宿本陣 11/3) ④「村瀬橋と落合ダムを巡る」(現地 11/8) ⑤「落合の宝物」(落合小学校内発表会 1/29, 2/1, 2/5) ・教材としての郷土資料の整理・データ化 ・活動を通じた学校と地域との協働促進					
	主な活動の流れ					
	※郷土学習支援 					
	※発表会・イベントなどの開催 ①子ども塾・②宝物 ③写真展・ダム村瀬 ⑤宝物校内発表 ①② ③④ ⑤					
	4月 6月 8月 10月 12月 2月					
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
(成果) ・地域の歴史や文化を子どもたちに伝える活動ができた ・地域の歴史や文化に触れることで、子どもに地域への愛着や誇りが芽生えたようだ ・孜汲舎の会と学校の活動との連携、子どもとの関わりを深めることができた (苦労したこと) ・子どもとの関わり方や子どもの活動時間の制約(下校時間)に苦労した						
今後の展開(自立に向けた活動)						
■引き続き孜汲舎の会として ・地域の歴史や文化への関心や知識を深めることで、子どもの目を通した地域の「宝」を再発見する ・「宝」としての意識づけを地域に発信し、地域活性化、落合の魅力向上、文化の継承に結びつける ・学校と地域の連携を深めて、地域学校協働活動を推進する一助とする ・活動に関わる人材を増やす						

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



▲小学校内の「孜汲舎」の部屋（空き教室利用）で、毎月運営委員会を開催し、子どもと共に学習したり、発表に向けた準備などの活動を行った。



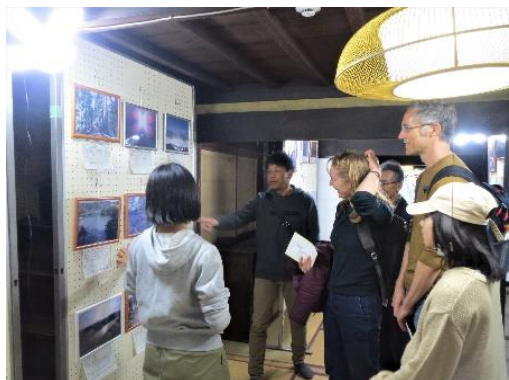
▲まちテラスで「落合の宝物」と題して日頃の学習の成果を発表した。月に一度、孜汲舎の会の大人たちと一緒に調べてきた「落合宿本陣」「狐膏薬」「中山道」「三文餅」について、映像とともに解説した。



▲ひと・まちテラスでの発表の成果を校内でも披露した。高学年向け、中学年向け、低学年向けの発表会を行って、より多くの児童に落合の歴史や文化に関心を持ってもらえるよう工夫した。



▲4日間にわたる夏休み子ども塾では、「落合の歴史博士になろう」の回を担当し、落合の昔話や中山道の歴史などについて、子どもたちに解説した。



▲「落合大好き子写真展」落合小学校4年生が総合的な学習の授業で撮影した写真を落合宿本陣で展示し、来場者に地域の魅力として解説した。授業での撮影場所の選定や解説、展示会場設営などの支援を行った。



▲健康推進員と歩こう「村瀬橋と落合ダムを巡る」と連携し、落合小2・3年生48人の参加調整を行った。村瀬橋やダム解説を受けたり、ダムの堤体から望む景色には歓声が上がるなど。落合の歴史と絶景スポットに触れることができた

(令和 5)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	あぎのきねんしさくせいいいんかい		地域名	中津川市阿木		地区																					
	阿木の記念誌作成委員会		会員数	12		人																					
ふりがな 代表者名	すずきひろゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	人(人)																							
	鈴木弘之																										
事業名	阿木の史跡・文化財とふるさとの歌の記念誌を作成する																										
総事業費 内(補助金額)	203,260 円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 6 年 3 月 31 日まで																							
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④																						
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																							
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																							
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他																							
事業 内容	事業の目的																										
	中津川市阿木、飯沼、広岡には文化財、史跡、故郷の歌がたくさんあります。 阿木の文化と歴史をタイトルとして、オールカラーで阿木の史跡・文化財・芸能関係では阿木歌舞伎・八屋砥獅子舞等又故郷の歌・阿木音頭・飯沼音頭・阿木小中学校の校歌等を掲載して作りたいと思っています。																										
	具体的な活動内容																										
	1年目は 第1部として 文化財、神社仏閣編 1,000部作製 2年目は 第2部として 歴史編 1,000部作製 3年目は 第3部として 芸能・民謡・校歌編 1,000部作製																										
	主な活動の流れ																										
	<table border="1"> <tr> <td>頑張るサポート申請</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>検討会議</td> <td>記念誌ゲラ刷り</td> <td>記念誌印刷</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td></td> <td>2月</td> </tr> </table>						頑張るサポート申請							検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	記念誌ゲラ刷り	記念誌印刷	4月	6月	8月	10月	12月		2月
	頑張るサポート申請																										
	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	検討会議	記念誌ゲラ刷り	記念誌印刷																				
	4月	6月	8月	10月	12月		2月																				
	具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）																										
阿木地区全体の人々の協力により、文化財、神社、仏閣の写真もきれいに撮れました。また説明文章も皆さんに出していただき、掲載できました。 タイトルも神谷先生に書いていただき、阿木地区の航空写真も吉田君に撮影していただき、立派な小雑誌が出来たと思っています。																											
今後の展開（自立に向けた活動）																											
作製した記念誌を、阿木全戸に配布したいと思っています。 その他、阿木小・中学校・阿木高等学校の生徒に配布します。 中津川市の図書館・中津川市の各地区公民館にも配布します。 これにより阿木をよく知って戴きたいと思っております。																											

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



記念誌 編集会議の様子



記念誌 1,000 冊 納入



記念誌 1.2.3.4.ページ



記念誌 5.6.7.8.ページ



記念誌 9.10.11.12.ページ



記念誌 13.14.裏表紙.表紙

ふりがな 団体名	みさかひかげたいさくのかい		地域名	神 坂		地区	
	神坂日陰対策の会		会員数	20人			
ふりがな 代表者名	かいちょう いそかわ きゆういち		延べ 参加人数 内(会員数)	224 人(199 人)			
	会長 磯川 久一			* 打合せ会議など	24人(20人)		
事業名	地域の道路の日陰対策と資源の有効活用事業			* 伐採・運搬作業	160人		
				* 薪作り実習作業		40人	
総事業費 内(補助金額)	203,956 円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 6 月 8 日から 令和 6 年 3 月 24 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	② ③ ⑥		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的						
	神坂地区の主な道路は山林に沿った所が多く、茂った樹木やその枝葉により道路の見通しが悪く、また冬場は日陰で路面が凍結するため、通学路や歩道、車道など通行に支障をきたしている状況です。この会では、道路沿いの立木伐採を行うことにより、見通しが良くなり冬場の路面の凍結防止にもつながるため、通学路の安全性や交通の利便性も向上し住民の往来が進むと考えています。また、伐採材の有効活用を行い、薪などの副産物利用が図れることで森林保全や地球温暖化防止にも役立つとも考えています。このような地域づくりとしての取組を行い、住民に関心を持ってもらえるような日陰対策を継続して進めていきたいと考えています。						
	具体的な活動内容						
	* 役員会議の開催 協議内容：①伐採要望、②伐採場所の検討と選定、③今後の日程調整、 ④機材などの購入、⑤安全確認など。 * 区長会などとの打合せにより活動場所などの選定を行った。 * 共同作業実施の機材等の見積書を複数確保し、価格交渉をして購入費の低減を図った。 * 作業実習会を行い、道路沿いなどの伐採作業を実施した 実施箇所：神坂地域塩野区天堤地内（詳細は別図を参照） * 伐採木の運搬作業を実施した。 * 薪作りの作業実習を実施した。						
	主な活動の流れ						
		役員会議	役員会議	役員会議	購入資材等の選定 ⇒ 2月頃から購入 伐採・運搬作業 薪作り実習作業		
		6月	8月	11月	12月	1月、2月	3月
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
	* 伐採作業や運搬作業など安全・安心に注意し作業が実施できたことは良かった。 * 伐採作業や薪作りの作業実習ができ、事業に対応できるスタッフを増員できて良かった。 * 伐採作業後、道路の日当たりや見通しが良くなった。特に冬場の通行の心配が減った。 * 伐採で得られた木材を薪に資源化でき、エネルギーの地産地消や環境保全につながった。 * 地域内の方を中心に薪の販売を予定。わずかだが活動資金を確保できる見通しである。 * 住民の方より「道路が明るくなり見通しが良くなった」とお礼や感謝の言葉をいただいた。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
* 伐採作業における安全確保に向けた講習会を定期的実施していく。 * 市内の薪ストーブ利用者などに呼びかけ、薪の販路獲得に努める。 * 会員や担い手の獲得に向け、薪ストーブ利用者やキャンパー等へのPRを強化する。 * 毎年1か所での実施を目指して活動する。特に冬季の交通事故防止につなげる。 * 事業の継続的な実施に向け、神坂地区の区長会やまち協とも連携して取り組む。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



＊ 審査会の様子



伐採スタッフ集合写真



＊ 伐採状況①（天堤）



伐採状況②（天堤）



伐採後の状況（天堤）



薪作り実習作業

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



* 伐採木の運搬スタッフ写真



* 伐採木の集積作業



* 伐採木の積荷作業



* 伐採木の引き上げ作業



* 伐採木の積荷作業

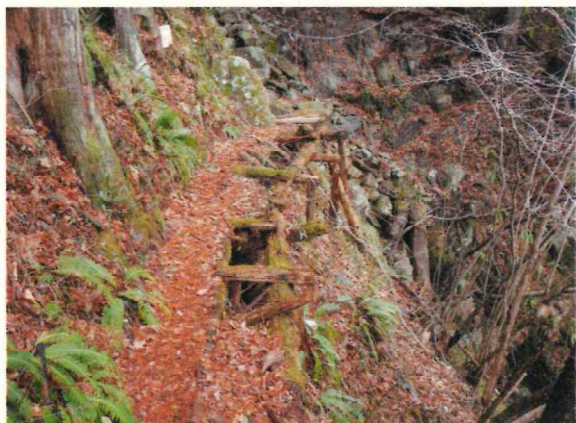


* 伐採木の引き上げ作業

令和5 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ゆもりしんこうぼらんていあのかい		地域名	川上		地区	
	夕森振興ボランティアの会		会員数	14		人	
ふりがな 代表者名	おがたまさふみ		延べ 参加人数 内(会員数)	21		人(21 人)	
	小 縣 雅 文			9/5 作業打合せ 5人 10/18~ 資材搬入 6人 11/14~ 整備作業 10人 1/16 次年度計画打合せ			
事業名	滝巡りの遊歩道を整備する活動		実施期間	令和 5 年 7 月 1 日から 令和 6 年 1 月 31 日まで			
総事業費 内(補助金額)	203,445 円 (200,000 円)						
事業 分類	番号	① ②	活動 分野	番号	④ ⑩ ⑪		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的						
	夕森溪谷には多くの滝があり、3~4時間で散策できる滝が4つあります。 近年、年間を通じて多くの方が川上川を上流に向かって滝や新緑紅葉を散策しながら楽しめる方が増えてきました。 令和3年の台風により、遊歩道や護岸が壊され、通行が困難な箇所も何箇所かあるので、滝を巡る遊歩道の整備を行いたい。また、奥の2つの滝にまでは、道が抜けている箇所もあり歩くのも困難な箇所もあるので、少しでも通行に支障がないよう整備し綺麗な溪谷を満喫してほしい。						
	具体的な活動内容						
	・遊歩道(登山道)が途切れている箇所の整備。(銅穴の滝からアゼ滝周辺) ・落石・崩落等の危険箇所の把握と撤去。						
作業打合せ							
資材等の搬入							
整備作業							
反省会							
4月 6月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月							
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)							
・遊歩道の破損箇所は新たな資材活用し補修整備を行った。また、急峻な箇所はチェンを設置し、登山者が安全に遊歩道を通行できるように改善しました。 ・作業箇所は急峻な所が多く命綱等を使用し安全確保を行いながら修繕作業を行いました。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
・独自に補修できる箇所は、見回りにより把握し、速やかに補修する。また、資金的に補修困難な箇所については中津川市の判断を仰ぐ。							

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



遊歩道(登山道)の現状



整備作業の様子



整備された遊歩道(登山道)

(令和5)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

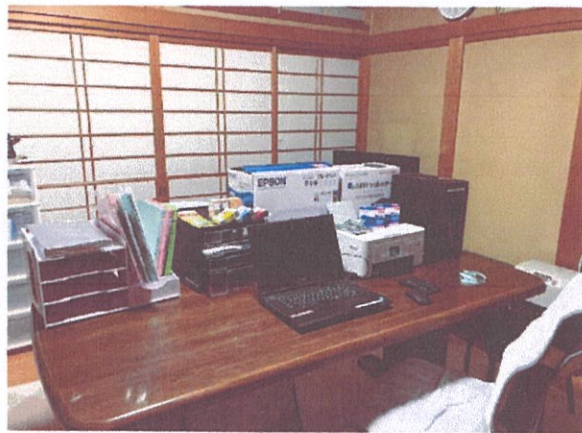
ふりがな 団体名	ゆうしょうぼらんていあ えぷろん	地域名	加子母		地区	
	有償ボランティア えぷろん	会員数	14		人	
ふりがな 代表者名	くまざわ えみこ	延べ 参加人数 内(会員数)	218		人(14 人)	
	熊澤 恵美子					
事業名	有償ボランティア【えぷろん】 ボランティア活動推進事業					
総事業費 内(補助金額)	255,260 円 (200,000 円)	実施期間	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 6 年 3 月 22 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	普段の生活の中で『ちょっとした困りごと』をお手伝い(有償ボランティア)することで加子母地域の方々がほんの少しでも安心して暮らせるための仕組みづくりの一端を担いたい					
	具体的な活動内容					
	車の送迎以外で介護保険サービス、シルバー人材センター、ファミリーサポートセンターなどの公のサービスでは補えない部分のお手伝いを行う 作業時間 10分につき 100円+ボランティアの交通費(1*。×20円) の費用を利用料として負担してもらう 作業内容 ・ストーブの灯油補充 ・服薬確認 ・服薬確認を兼ねた昼食時の見守り ・安否確認 ・家の中の掃除 ・布団などの片付け(押し入れへの収納) ・ゴミ出し ・買い物代行 ・介護者の留守中の付き添い(寝たきりの高齢者) ・塗薬塗布の手伝い ・調理の手伝い ・玄関出入り口の雪かき ・玄関先の草刈り					
	主な活動の流れ					
	随時活動	事務用品、機器等購入 事務場所の整備		活動用備品(マスク、エプロンなど)の購入 事務用品購入		
	毎月報告会議開催					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	『ちょっとした困りごと』を依頼されるきっかけはほとんどが介護保険では補えない部分の内容が多く、ケアマネージャーさんからの相談により利用に結びついています。「高齢のひとり親の服薬確認や、安否確認してもらうことで、仕事に出ていても安心して働ける」「(少額な)有償であることで、お礼や、気兼ねすることなくお願いできる」などこの活動をよこんでいただいています。 苦労していること 自分の車を使っての活動なので移動にかかる費用などの捻出方法を再検討している また、訪問先の方が作業後に話が尽きず中々切り上げてくれるのが難しい(喜んでくれるのでありがたいのですが)					
今後の展開(自立に向けた活動)						
・地域での助け合いが【えぷろん】のボランティア活動を通して一人でも多くの方に理解してもらいながら、ボランティア活動への参加者が増えるよう働きかけていきたい(ボランティア活動の啓発活動などの取り組み) ・『ちょっとした困りごと』が気兼ねなくお願い事として【えぷろん】などに依頼できるような環境づくり(ケアマネさんや民生委員児童委員さんとの連携していく など)						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



連絡会議(毎月開催)



事務所整備ができました



掃除と片付けのお手伝い



毎朝の服薬と安否確認



昼食の提供と安否確認(今日はうどんだよ)



長期間の留守宅の鉢植えなどの水やり



玄関先の草刈り

(令和5)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かしもぼうさいいかい		地域名	加子母		地区
	加子母防災士会		会員数	30		人
ふりがな 代表者名	こうけつてるみ		延べ 参加人数 内(会員数)	500 人(100 人)		
	瀬瀬輝己			内訳	防災講習	170(48)
				小学校研修	100(12)	
事業名	地域の防災意識向上			中学校研修	150(20)	
				バスツアー	80(20)	
総事業費 内(補助金額)	200,856 円	(200,000 円)	実施期間	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 6 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	①、②	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	加子母地域で防災士の資格を持つ人が増えてきたので、防災士の連携を図るとともに、各自治会の防災士がその自治会の防災リーダーとして活躍できるようにする。 防災士対象の研修を行い、個々のスキルアップと防災リーダーの意識向上を図る。 地域住民の研修機会を設け、多くの住民が自分のこととして防災についての意識を向上する。					
	具体的な活動内容					
	6区において、家具等転倒防止講習会を実施し、加子母地区内全区での講習会を完了した。 小学校において、ロケットストーブを活用した炊き出し体験をおこなった。また、富山大学准教授の安江健一氏とともに6年生の阿寺断層にかかる学習支援を行った。 中学校において、避難所運営ゲームを用いた防災研修の実施、(一社)中部地域づくり協会によるVR防災教室に参加、マンホールトイレの設置訓練の実施など、多くの研修機会を持った。 富山大学准教授の安江健一氏を講師として、阿寺断層の現状を見学する「阿寺断層バスツアー」を企画し、2回のツアーを実施した。 岐阜防災活動大賞にエントリーし、3年間の総まとめとして発表できた。					
	主な活動の流れ					
	総会	中学校VR研修	中学校HUG	中切区講習	角領区講習	
		小学校炊き出し体験	阿寺断層バスツアー1	上区講習	防災活動大賞	
			教育の日参加	小発表会	小和知区講習	
			中区講習	下区講習	バスツアー2	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
当初目標としていた、加子母地区内全区での家具等転倒防止講習会を完了できた。 小学校や中学校においても、多様な防災学習に参加することができた。防災士自身も学ぶことが多かった。 富山大学准教授の安江健一氏のご指導を何度もいただくことができた。特に阿寺断層を見学するバスツアーを2度実施し、多くの地域の方に現地を学ぶ場を提供できた。 今年度末に岐阜防災大賞ポスターセッションにエントリーし、3年間のまとめとすることができた。 多くの地域の方に防災について学ぶ機会を提供でき、十分役割を果たしていると実感している。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
各区での家具転倒防止等の講習会を今後も継続実施できるよう、区長会を通じて啓発を続ける。 安江准教授との連絡を今後も取り合い、ご指導を受けながら啓発・研修を進める。 小中学校での防災学習を今後も計画的に行う。 防災士会のメンバー同士の情報交流、研修を継続する。また、新たに防災士となる人ができるように応援していきたい。						

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

1 家具転倒防止の講習会の実施



4 6年生研修発表会



2 小学校における研修



5 阿寺断層バスツアー



3 中学校における研修



6

岐阜防災大賞

地域全体の自助の力を高めるために

【活動内容の特徴】

地域住民の「自助」の意識を高める取組
①高山大学准教授の協力による断層「阿寺断層」の情報の提供。②自分自身でできる減災対策を体験する場の提供。③小中学生が災害時に生かせる体験活動の実施。など、地域の住民が自分ごととして防災減災をとりとえることを大切にした。

【アピールしたい防災活動の成果】

地域住民の防災意識の向上に貢献できた
・阿寺断層の現地見学などをふくめ最新情報を多くの住民に提供できた。
・10地区中8地区で延べ9回家具等転倒防止講習会を実施できた。
・小中学生が防災を自分のこととしてとらえる機会となった。

【媒体の紹介】

- ・中津川市加子母地域
- ・令和元年7月～現在(5年目)
- ・現在の会員人数(実施10人/全31人)
- ・加子母地域内に住む防災士によるボランティア活動
- ・ロゴマークはさきざきをモチーフに

【活動内容の特徴】

活動断層「阿寺断層」の情報提供
断層を短縮する活動断層「阿寺断層」について、高山大学の阿寺准教授に指導を受けて、現地見学を含めた研修会を3回にわたって行った。

自分自身でできる減災対策体験の場の提供
家具の固定やガラスの飛散防止フィルムを貼る作業を体験する機会(写真左)として地区ごとでの講習会を9回開催した。延べ約200名の参加。

小中学生が災害時に生かせる体験活動の支援
小学校では、6年生のロケットストーブを使用した炊き出し体験(写真左)を支援した。また、中学校では、防災倉庫の点検やマンホールトイレの設置体験のほか、HUG(避難所運営ゲーム)を実施した(写真上)。

各地区で行った家具転倒防止講習会の中で、阿寺断層に関する情報を提供した(写真上)。

【活動成果】

<実施者から見た効果>
・加子母出身の高山大学准教授が阿寺断層を研究していることを活用して、正しく最新の情報を入手し提供することができている。
・画像や家具の模型などを使って、一般の住民や子どもたちにも理解しやすいような情報提供ができている。

<参加者等から見た効果>
・阿寺断層による大地震や大雨によって起こるであろう災害に対して、何を準備したらよいかわかる。
・災害が起こる前に行動しようとするきっかけとなっている。
・人ごとではなく自分のこととして考えることができるようになってきている。

(令和 5)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけちちちょうゆうりょうざいせいさんけんきゅうかい		地域名	付知		地区	
	付知町優良材生産研究会		会員数	44		人	
ふりがな 代表者名	みうらはちろう		延べ 参加人数 内(会員数)	10		人(9 人)	
	会長 三浦八郎						
事業名	付知川河川公園 桜の樹整備事業						
総事業費 内(補助金額)	235,000 円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 11 月 15 日から 令和 6 年 3 月 10 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	③		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	付知河川公園には原玉重先生より寄付していただいたソメイヨシノをはじめしだれ桜、八重桜などがたくさんの桜の木が植樹されています。付知町優良材生産研究会ではサクラの植樹やライトアップを長年にわたって行ってきました。30年ほど前に付知河川公園の桜の木に設置されたライトアップ設備が老朽化し、50年を超した老木も勢いが衰えてきています。付知川河川公園のライトアップ設備を設置し直し、桜の老木の(テングス病、こばえ枝、青苔)の手入れをします。						
	具体的な活動内容						
	令和5年度は事業一年目として現在のライトアップ施設のうち、約1/2の撤去と新設を行いました。また、2カ所にある配電盤Boxのうち1カ所を取り替えをました。その部分の桜の木のテングス病、こばえ、青苔等の整備を行いました。来年度以降に残りのライトアップと桜の手入れを行う予定です。						
	主な活動の流れ						
					旧電線撤去 コバエ整備		新電線取付
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	銅線やLED照明などの値上がりがあり、予定までライトアップの取替が進まなかった。コバエや青苔の整備は出来たがテングス病の手入れが出来なかった。出来たら来年度に行います。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
○二年目: 残りのライトアップ施設約1/2の撤去と新設を行います。残りの配電盤(Box、タイマーともの)の1カ所を取り替えます。その部分の桜の木の整備を行います。 ○三年目: 下からのライトアップの設置します。ライトアップ場所以外の桜の木の整備を行います。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



旧電線撤去作業



コバエ撤去 チッパー作業



青苔撤去作業



新設 分岐BOX設置



新設 分岐BOX設置



新設ライトアップ用电線ソケット付



電球ガード



LEDライト

(5)年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ふじやまこうえんをうつくしくするかい		地域名	山の田・野尻		地区
	富士山公園を美しくする会		会員数	30		人
ふりがな 代表者名	はなだ すみお		延べ 参加人数 内(会員数)	50		人(人)
	花田 住夫			枝打整枝 6名、下草刈り 5名、満天星 植樹8名看板作成3名、肥料散布8名		
事業名	どうだんつつじをまもりけいしょうするじぎょう 満天星つつじを守り継承する事業		実施期間	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 6 年 3 月 22 日まで		
総事業費 内(補助金額)	201 千円 (200 千円)					
事業 分類	番号	①②	活動 分野	番号	①③⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの発展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	・福岡地区の名所「満天星ツツジ」が群生する富士山稲荷公園のツツジが老朽・衰弱し枯れ木も増えているため、「満天星つつじ群生地」を次世代へと継承するため、整備・植栽に取り組む。 公園内を巡る通路や景観整備を行い高齢者から保育園児等までが集える憩いの場の整備に取り組む。					
	具体的な活動内容					
	令和5年度の活動報告 (1)公園内木々間全般の除草。 (2)アンバランスな高木・枯れ木の除去。 (3)全山枝打ち整枝作業。 (4)「満天星ツツジへの肥料散布。 (5)視界内のパノラマ展望図を設置					
	主な活動の流れ					
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
○ つつじの枝の整枝作業により木に力が蘇った。 ○ つつじの本数が多くて実働会員数の割合に対して作業が厳しかった。 ○ 山全体が花崗岩なのでパノラマ展望図の設置が困難でした。 ○ コロナの蔓延の影響で公園整備を呼び掛けても会員の応答が今一だった。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
○ 選定の技術、移植の方法等公園整備作業時に声掛けを行い活動の伝承をしていく。 ○ 公園内にある石碑に説明を付け、歴史ある物として保存の意識を強くする。 ○ 満天星つつじをふたたびパンフレットの一面を飾る事が出来るように地区民全体で管理する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



整枝作業



高木撤去作業



肥料散布



パノラマ展望図作成

令和5年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	えびすざとものかい		地域名	蛭川		地区
	蛭子座友の会		会員数	52		人
ふりがな 代表者名	ながやちふみ		延べ 参加人数 内(会員 数)	680 人(95 人)		
	永治 千文			・8月映画会…300名(40名) ・11月公演会…200名(30名) ・11月映画会…80名(15名) ・2月演奏会…100名(10名)		
事業名	蛭子座の積極的活用 推進プロジェクト		実施期間	令和 5 年 6 月 2 日から 令和 6 年 3 月 12 日まで		
総事業費 内(補助金額)	208,744 円 (200,000 円)					
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	全国でも数少ない劇場型公民館で中津川市有形文化財に指定されている蛭子座を、歌舞伎だけでなく芸能・音楽・講演・研修会など、できるだけ多くの催しや活動に活用していくため、地域の要望を積極的に取り入れながら企画・運営を推進していく。 ○地域の課題(高齢化、過疎化、健康医療、等)の現状と対策を学ぶ研修や講演の誘致を図る。 ○地域の文化に刺激を与えられる催しを企画・運営し、地域文化の向上を図る。 ○蛭子座での催しを通して、地域の人同士の交流をさらに深め、願いを実現できるよう努める。					
	具体的な活動内容					
	蛭子座を活用した催しの企画と運営及び協力 ・映画鑑賞会(8/6)…映画「二宮金次郎」運営協力/主催は中津川市/文化会館 ・公演会(11/12)…「田楽座」公演協力/主催は蛭川文化協会 ・演劇鑑賞会(11/18)…「田楽座」公演開催のため次年度に延期 ・映画上映会(11/26)…映画「この世界の片隅に」上映・運営協力/主催は青少年健全育成蛭川支部 ・笠置山音楽フェスタ(12/2)…今年度は参加合唱団の都合により中止 ・「蛭子座」のぼり旗の設置(2/2)…「蛭子座(蛭川公民館)」のぼり旗10基 ・スクランブルコンサート(2/18)…運営協力/主催は蛭音コネクト					
	主な活動の流れ					
			8月映画鑑賞会		11月映画鑑賞会	
			8月映画会準備 9月講演会中止		12月合唱祭中止 2月コンサート準備	
	年間計画作成		11月映画会準備		のぼり旗の企画 2月コンサート	
	役員会	役員会	役員会	のぼり旗製作依頼 役員会		
	4 月	6 月	8 月	10月	12月	2 月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
・コロナ感染も終息に向かい、企画は感染防止に努めながら予定通り実施。目的である蛭子座の積極的活用は定着してきている。諸事情で中止になった催しもあり、次年度以降で再企画したい。 ・地域課題解決に向けての研修や講演等が今年度は実施できなかったもので、次年度に引き継ぐ。 ・友の会について、地域住民への理解がまだ不十分なので、今後の進め方について検討していく必要がある。 ・蛭川振興会と連携して、住民の声を集めながら企画していくようにしたい。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
・蛭子座活用の企画・運営第4ステージ…地域課題解決に関わる講演会・映画会等の実施 ・地域住民に楽しみにしてもらえる映画会…定期的に企画して運営に協力したい ・瀬戸昌之先生「持続的な社会の構築」講演会の開催…企画・運営(振興会と連携) ・子ども向け映画の上映会…青少年健全育成蛭川支部と連携 ・「笠置山麓音楽フェスタ」の継続的開催に向けて…実行委員会の企画と運営に協力 ・「スクランブルコンサート」の運営協力…蛭音コネクトの企画と運営に協力 ・地域の要望を集約して、必要な企画を進めていく						

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



8/6 (日) 映画「二宮金次郎」上映会
企画4年目にして開催することができた
午前・午後で計300名の来場
様々な映画上映を継続していきたい

11/12 (日) 田楽座公演
企画4年目にして実現
蛭川文化協会主催200名来場
今後も文化協会との合同企画を



2月 のぼり旗の設置10基

11/26 (日) 映画「この世界の片隅に」上映会
青少年健全育成蛭川支部の主催/友の会協力
午前・午後の開催で計80名来場
児童生徒・保護者の来場が少なかった/要検討



2/18 (日) 第6回スクランブルコンサート
多彩な楽器演奏グループの参加
参加/鑑賞100名…蛭音コネクトが企画運営
公民館「蛭音バンド講座」生の参加

令和5年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひるおんこねくと		地域名	蛭川		地区										
	蛭音コネクト		会員数	7		人										
ふりがな 代表者名	たまたに まさゆき		延べ 参加人数 内(会員数)	63		人(7 人)										
	玉谷 正幸															
事業名	蛭音祭															
総事業費 内(補助金額)	円 (200,000 円)		実施期間	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 6 年 3 月 10 日まで												
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	⑩											
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流												
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育												
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他												
事業 内 容	事業の目的															
	蛭川は文化協会があり年間においても協会の団体の発表などがありますが、地元において若者から中高年までが自分で好きなことや趣味でやっていることなどを発表する機会がなく、なんとかそうゆう人たちに人前で発表する喜びを体験してもらい、その経験を生かして次の地元にいる世代の子どもたちや地域の人との繋がりを広げていくことを目的とします。															
	具体的な活動内容															
	蛭川の地域でさまざまな活動をしている人にジャンルを問わず募集をして様々な取り組みを人前で発表をして地域全体で蛭川を盛り上げてくイベントを企画していきます。またすでに定着している地域のイベントにも積極的に参加をしてステージをサポートしていきます。イベントとしては10月開催のhillonと2月に蛭子座ステージにて開催するスクランブルコンサートを実施します。また団体の活動としては公民館講座にてバンド演奏を教える講座を毎月開催します。															
	主な活動の流れ															
	<table border="1"> <tr> <td>イベント企画</td> <td>出演者募集</td> <td>イベント準備開始</td> <td>イベント開催</td> <td>反省・意見交換</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月 2月</td> </tr> </table>						イベント企画	出演者募集	イベント準備開始	イベント開催	反省・意見交換	4月	6月	8月	10月	12月 2月
	イベント企画	出演者募集	イベント準備開始	イベント開催	反省・意見交換											
	4月	6月	8月	10月	12月 2月											
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）															
今回は事前に出店者・出演者の募集チラシを配布しましたが、やはり思うように応募がなく、メンバーのネットワークを活用して出演者・出店者を集めることが出来ました。今回のイベント開催場所はひとつばたご広場内で行うことにより雨天に左右されることが無く準備を出来る環境でした。イベント開催に際しては新聞の折り込みチラシ・SNSでの広告を活用、また来場者にイベント内で使用出来る金券・子供向けお菓子のプレゼントなど集客に関して努力しましたが、ちょうどイベントシーズンもあってか思うように来場者が伸びなかった。																
今後の展開(自立に向けた活動)																
今後に向けて多くの人にイベントを認知してもらうためには継続性・独自性を明確していく事が重要だと感じましたので、現在ほかの地域で行われているローカルイベントと何か違う差別化が図れるよう検討して行きます。その中で地域を盛り上げて多くの人に足を運んでもらい蛭川の魅力を発信したいという思いのある方を会員へ勧誘しながら、組織メンバーを多くしていきたいと思います。また音楽の力で発信を考えていますので、2月開催のスクランブルコンサート、またバンド講座を通じてネットワークを広げていき自分たちに出来ることは何かをしっかりと打合せなら活動を継続していきます。																

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）



参加募集チラシ



イベント開催チラシ



演奏の様子



会場の様子



ステージの様子

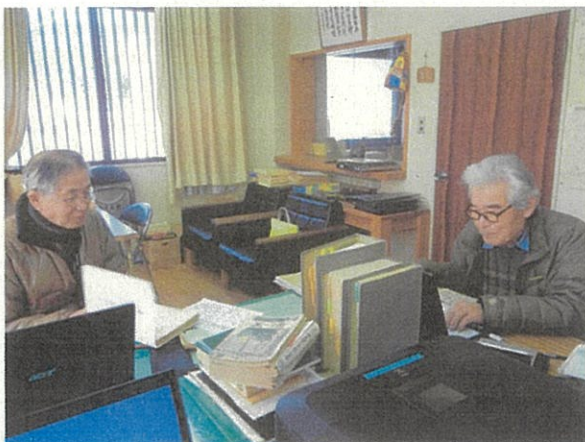


音響の様子

令和5年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	きょうどぶんかざいほぞんかい 郷土文化財保存会	地域名	蛭川	地区	
ふりがな 代表者名	おくむらまさみ 奥村雅美	会員数	3	人	
ふりがな 活動事業名	「ひるかわのでんせつ」のさいはっこう, 「蛭川村の伝説」の再発行	述べ参加人数内(会員数)	36人(36人)	4月～6月 冊子解体・スキャン作業6人 7月 編集作業3人 月2回の資料整理作業27人	
総事業費 内(補助金額)	113,873 円 (110,000 円)	実施期間	令和 5 年 6 月 1 日から 令和 6 年 3 月 20 日まで		
事業分類	番号	①	活動分野	番号	⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
	事業の目的				
	「蛭川村の伝説」(昭和52年発行、A5版100頁)について、地域外から議ってもらえないかと問い合わせが多くあり、郷土資料館には冊子の在庫がなく、問い合わせに答えられていない。そのため本サポートを活用して再発行して、資料館の在庫として残し、必要な人には頒布できる体制を作りたい。				
	具体的な活動内容				
	4月～6月 冊子「蛭川村の伝説」を解体して、各ページをスキャンしてデータとして取り込み編集 7月 印刷会社にデータを送り、印刷製本を依頼 10月 100冊刊行(製本終了) 月2回郷土資料館資料整理(4、5、6、7、9、10、11、2、3月) 9月・10月中京学院短大保育科講師より資料検索依頼、10月苗木公民館講座生の文化財視察に対応				
	主な活動の流れ				
	企画・準備	→ 編集	印刷製本	製本完成	
4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
刊行した「蛭川村の伝説」については、蛭川振興会だよりに宣伝を掲載して頂き、その後問い合わせもあり、5冊ほど頒布した。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
引き続き月2回程度の郷土資料館資料整理を行う中で、今回のような資料を編集し印刷して製本にしたいと考えている。					
9月に中京学院短大保育科の講師から当郷土資料館発行の他の冊子について問い合わせがありその対応を行ったが、貴重な資料が蔵書されているようなのでそういう情報も発信したい。					

活動状況が分かる写真



(令和5)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

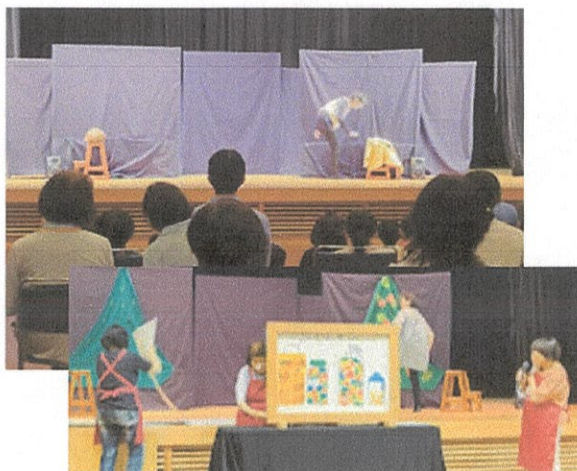
ふりがな 団体名	さいびのかい		地域名	蛭川		地区
	さいびの会		会員数	5		人
ふりがな 代表者名	にしやまゆかり		延べ 参加人数 内(会員数)	137 人(人)		
	西山ゆかり			7/29 劇団「サクランボ」講演 52人 10/18 文学散歩犬山・明治村 20人 11/3 まいか祭古本市 60～70組 5/6・11/9 リサイクル活動 3人×2回		
事業名	蛭川の本と地域を継げる活動事業					
総事業費 内(補助金額)	245,000 円 (120,000 円)		実施期間	令和 5 年 6 月 12 日から 令和 6 年 3 月 20 日まで		
事業 分類	番号	2	活動 分野	番号	① ④ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	今後の展開(自立に向けた活動)					
	蛭川済美図書館はさいびの会は読書サークルとして活動をしてきました。図書館を通して多くの方に参加していただき、本を読むと同時に横のつながりまた地域の方と楽しく過ごすことを目的としています。 今回の頑張るサポートを機に仲間を増やすこと 今後も次へバトンできることが目標です。					
	具体的な活動内容					
	① リサイクルに参加(5・11月) ② 文学散歩『明治の偉人と城下町(明治村と犬山城)』 ③ まいか祭 古本市 ④ 済美図書館へ寄贈 ⑤ 講演会『こきつねコンとこたぬきポン』 ⑥ 広報 チラシ配布					
	主な活動の流れ					
	企画準備 4月 リサイクル 6月 本の整理 8月 募集 10月 まいか祭 12月 文学散歩 2月					
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
5年のコロナでの休止は長く すぐに動き出せない場面が多く募集に時間がかかった参加者が思いのほか少なかった。これからのPRを考えたいと思う。 また予算とバス代等が高く 大変苦労した。 しかし文学散歩では多くの方に来年もしてほしいとことばを多くいただいた。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
子供向けのイベントでの集客を伸ばす。⇒ 保育園小学校を回ったがもう少しPRを考える 予算の検討⇒ 情報をイベント企画前に集める。 まいか祭での本の数 ⇒ 本の整理回数を増やす、事前の準備の徹底 会員の増加 ⇒ 方法を企画する。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

さいびの会ミーティング
月1回・イベント前随時



劇団「サくらんぼ」
& 蛭川おはなしの会



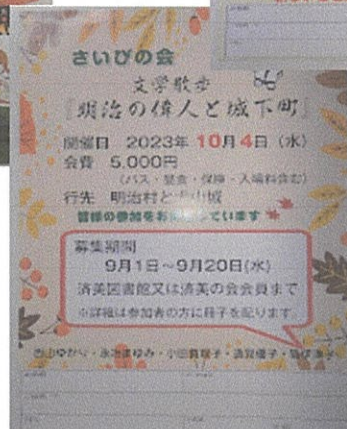
文学散歩
明治の偉人・城下町



まいか祭
古本市



リサイクルの日
年2回



チラシ配布

中津川市 定住推進部 市民協働課
TEL 0573-66-1111 (内線327)